

## 1. 総評

## (1) 年度初めの学校の状況 【学校の現状及び前年度の成果と課題】

## [学校の現状]

- 児童は、明るく素直で元気であり、聞く力を身に付けている。全体的には、どの学級も集中して授業に取り組むことができる。異学年間で助け合う様子も見られる。
- 本校には初任者教員（1年目～7年目教員）が13名（昨年度50%から今年度57%）いる。また、男女の構成比は、おおむね同数（12：13）で若干女性教員が多い。多くの教員は、児童の教育に熱心であり、協働して行事等に取り組むことができる。児童指導においては、経験や指導力を考慮しながら、学年での対応を中心に組織的に対応するよう指導している。
- 校務分掌の円滑な運営や指導力の向上を考えながらOJTを機能させ、若手育成を対象として組織全体で育成していくことを行ってきた。さらに体制を整え充実させていくことが課題である。
- 広い校庭、芝、ビオトープ、グリーンカーテン、各学年の果樹、水田など良好な教育環境に恵まれている。保護者や地域の方々に様々なところで支援をいただいている。地域ボランティアによる登校時の交通安全見守りを通年で実施できている。

## [前年度の成果と課題]

学力の向上

- ・教職員が協働して区の学習状況調査結果について分析を行い、状況を把握して、個別指導により基礎的・基本的な学力向上を図った。
- ・全校体制で、補習教室に取り組み、学習内容の未定着児童を中心に成果を上げた。また、家庭学習の定着を図り、個々の目標に対して効果が表れてきた。より良い取り組みを教室内に掲示したり、家庭学習展示週間を設けたりして互いに見合うことで学び合いを行った。学習状況調査の結果分析を継続して、補習教室の在り方、個々の児童にあった授業の在り方を確立した。
- ・算数少人数担当を中心に、少人数指導による学習効果の検証をし、グループ編成や指導法の改善を行った。グループ編成や指導法の改善をし、より効果的な少人数指導を確立への体制が整ってきた。

健全な心身づくり

- ・「早寝、早起き、朝ご飯」を基調として、毎月1週間「おはよう5点」に取り組み、当面、児童及び家庭に啓発するとともに全校体制で取り組んだ。「全校あいさつ運動」「下駄箱整理」「休み時間の外遊び」などを全校体制で徹底して取り組み、基本的な生活習慣の確立を目指して一定の成果を上げた。
- ・体力テストの年2回実施により、児童が運動の技能を身に付けるための教員の指導技術の向上を図る事ができた。
- ・「一校一取組」の活動として「長縄チャレンジ」を全校で行い、持久走、短縄の取り組みなどにより運動の日常化を図り体力づくりを図ってきた。持久走大会では、エントリーした児童全員が完走することができた。引き続き取り組み、より効果的な実施方法で臨む。
- ・学校栄養士の指導による委員会児童からの発信により、全校児童に向けての食育は成果を上げた。さらに、取り組みを一層活発にするために、食育年間計画の見直しを図っていく。

環境教育の推進

- ・グリーンカーテンの継続的な取り組みのために、企画を見直し、実践化を図っていく。
- ・「芝生の親方」や「芝生の匠」の継続的な認証されることで、組織としても一層強固になった。永きにわたる取組となるよう保護者への啓発を推進し、持続可能な計画を立て実施していく。

## (2) 今年度の重点目標とそれに向けた取組みの概要

重点的な取組事項－1 学力向上

- 成果目標 … 基礎・基本の定着と活用する力の伸長
- 達成基準 … 学力状況調査の通過率を全校平均で国語75%算数85%以上を達成。
- 目標実現に向けた取り組み
  - ・パワーアップタイムの充実
  - ・学力調査による定着度の分析

- ・個に応じた指導を中心とした補習教室
- ・読書習慣の確立

#### 重点的な取組事項－2 健全な心身づくり

- 成果目標 … 体力の向上  
達成基準 … 毎日の5分間運動の実施による体力向上
- 目標実現に向けた取り組み  
・基本的な生活習慣の確立
- ・体力向上
- ・食育の推進

#### 重点的な取組事項－3 小中連携を通じた授業力向上

- 成果目標 … 六月中・保木間小学校と連携の推進  
達成基準 … 六月中・保木間小学校との年間6回以上の連携実施
- 目標実現に向けた取り組み  
・学力に関わる交流
- ・児童、生徒に関わる交流
- ・その他の交流

#### 重点的な取組事項－4 環境教育の推進

- 成果目標 … 校内の環境を生かした環境教育の実施  
達成基準 … 4月中に環境教育年間計画を周知し、各学年20時間程度の実践を計画、実施する。  
区の地球温暖化対策事業へ100%参加
- 目標実現に向けた取り組み  
・校庭の芝生
- ・グリーンカーテン（壁面緑化）
- ・ビオトープ
- ・果樹
- ・水田

### (3) 今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性

#### 重点的な取組事項－1 学力の向上

- 今年度の成果  
学力状況調査の通過率…全校平均で国語78.6%（前年度より+3%）、算数81.7%（前年度より+6.1%）
- 課題及び解決の方向性  
・基礎的・基本的な学習内容の定着…個別指導による学力向上と授業改善

#### 重点的な取組事項－2 健全な心身づくり

- 今年度の成果  
体力状況調査の結果 東京都平均50ポイントを上回った種目  
男子・上体起こし(3・4・5)反復横跳び(1・3・4・5・6)50m走(4・5)立ち幅跳び(3・5)  
女子・握力(3)上体起こし(3・4・6)・反復横跳び(1・2・4・5・6)・20mシャトルラン(1)  
50m走(1・2・4・5)・立ち幅跳び(4・5)ソフトボール投げ(1)  
5分間走 100周突破 161名/478名
- 課題及び解決の方向性  
全学年において、投力の数値が区内、都内の平均を下回っていた。そのため、今年度から手立てを考え取り組み、来年度継続して手立てを行っていく必要がある。  
「体育の授業は楽しい」回答75.2%(都平均74.3%)特に、1・3年は男女とも都平均を上回り、1年女子は96.9%でやや楽しいを含めると100%  
「できなかったことができるようになるきっかけは何か」への回答「先生や友達のまねをする」が多数

#### 重点的な取組事項－3 環境教育の推進

- 今年度の成果  
環境教育年間計画に基にした、各学年20時間の取組 区の関連施策事業へ100%参加
- 課題と今後の方向性  
グリーンカーテン（壁面緑化）の継続取組…グリーンカーテンの活動計画作成と環境教育年間計画の見直し

### (4) 保護者や地域へのメッセージ

- 学校の教育活動へのご理解とご協力に感謝  
保護者の皆様には、学校の教育活動に対して大きなご理解とご協力をいただいていることに感謝申し上げます。全学年での学級編成導入も定着し、学級の枠を超えた学年一体となった指導を行っ

てまいりました。また、生活時程の見直しを図り、喫食時間の5分間増の定着とともに、休み時間の遊びの徹底、30分休み時間の設定等が功を奏し、喫食率の向上が図られ、残滓率1%未満につながりました。「学力向上」に重点を置き、月曜日1校時の基礎基本の時間を有効活用する新たな取り組みも加えてきました。健全な心身づくりのための「おはよう5点」の導入も定着し、「家庭学習」への理解も深まり、各学年ともに良好な状況となっています。

#### ○学力向上の取組

本校の取り組みの柱の重点である「学力向上」については、教師一人一人の授業力を高め、児童の学習状況にあった授業展開を「足立スタンダード」に沿って実施しました。登校時間帯の厳守により遅刻児童の減少につながり、各担任が登校時の児童の様子を確認でき円滑な一日の始まりを保証することができました。朝会・集会以外の3日間は「朝の素読」後の「音読」「読書」を習慣化、20分休み後の「パワーアップタイム」での学年に応じた内容の積み重ねができました。月曜日第1校時に設定した「基礎・基本の時間」のもち方、全教員による補習や長期休業中の補習学習も行っています。学校では、その日の学習内容はその日の内に身に付けることを目指し、個に応じた家庭学習へとつながります。「家庭学習」の取り組みにご理解とご協力をいただき、家庭学習の定着率も高く内容も充実し10分×学年数以上の家庭学習を確実にしている児童も見られます。さらに昨年度に続いて家庭学習ノート週間を設け、展示週間には互いに見合い学び合いを深めました。

保護者の皆様、地域の皆様には、多方面で力を貸していただき心より感謝しております。ボランティアとして、補習教室での丸付けや体験活動のお手伝い、漢字検定・数学検定・料理検定の補助などたくさんのご協力をいただきました。今後とも、ご協力のほどお願い申し上げます。

#### ○体力向上の取組

本来、体力は常日頃の運動で高めていくものと考え、毎日できる運動を取り入れています。体幹を鍛え姿勢をよくする目的として「タオル体操」を取り入れ、基本的には朝会・集会以外の3日間「朝の素読」とともに各学級の朝の会で行っています。長期休業前には家庭での取り組みを促しています。また、朝や授業の開始・終了時、帰りのあいさつは起立して行うことでさらに体幹を鍛え姿勢を整えています。昨年度から継続している20分休みの最後の「5分間運動」で「走る」ことを基本の運動としていますが、一定の期間を設けて、「一校一取組」である「長縄跳び」や「短縄跳び」やラジオ体操、体幹を鍛えるために有効な「Sケン」にも取り組んでいます。また、秋より投力向上モデル校としての取り組みを行っています。年間を通して運動に取り組むことで、放課後や休日の取り組みにも広がり、日常的な体力の向上につながっています。今年度の持久走大会では、エントリー児童の全員が完走することができました。また、学級の子供たちが力を合わせ、学級や学年一体となる機会へとつなげています。

今年度も区の水泳大会、陸上大会、サッカー大会などに参加し、特別体制（朝練習・夕練習）を設定し取り組みました。地域もサッカーや野球などのスポーツが盛んであり、児童の運動に対する意識や意欲を高めていき、保護者や地域の方々の期待に応えていきます。

#### ○環境教育の取組

本校の特色ある教育活動の一つに環境教育があります。「校庭の芝生」「グリーンカーテン」「ビオトープ」「6種の果樹」「水田」を教材として全校で取り組んでいます。それぞれに自然の教材ですが、維持管理をしていく人の手が必要です。「緑を育む会」や「グリーンカーテンのネットはり」「グリーンカーテンの土づくり」「ビオトープ管理」「果樹管理」「水田管理」などご協力をいただいています。

#### ○挨拶の励行

あいさつは、人間関係をつくる上で大切な生活習慣です。昨年度より「あかるく」「いつも」「さきに」「つづけよう」を合言葉に取り組み、自分から、元気よく、表情豊かにあいさつする児童が増加しています。よくない習慣のため、寝起きで朝食も摂らずに学校に登校している児童も見られましたが、登校時間帯を絞ったことも効果に表れ、遅刻児童が減少しています。学校では、月替わりで各学年が担当する「あいさつ当番」が校門に立ち、率先してあいさつをしています。「いつでも」「どこでも」「誰にでも」挨拶する習慣が身につくよう家庭での取り組みを今後ともお願いします。

#### ○「グリーンパレットなかしまね」

「グリーンパレットなかしまね」（放課後子ども教室）は、実行委員・スタッフのみなさまにより、子どもたちの楽しみと交流の場になっています。今年度より多目的室を活動場所の中心として豊かな子どもの遊びを支えていただきたくさんの児童が参加しています。各ご家庭にあっては、「グリーンパレットなかしまね」の活動にご協力とご理解をお願いします。

## 2. 平成29年度の重点的な取組事項

＜達成度 ◎：十分に達成 ○：おおむね達成 △：達成せず ●：課題が残る＞

### 重点的な取組事項－1 学力向上

今年度の成果目標	達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
基礎・基本の定着と活用する力の伸長	学力状況調査の通過率を、全校平均で国語75%、算数85%以上達成。	平成29年度学力状況調査の通過率全校平均国語78.6%（前年度より+3%）、算数81.7%（前年度より+6.1%）になった。	国語の向上が図られた。算数では学年差もあり達成基準を上回れなかった。今後もより一層の基礎・基本の定着と活用する力の伸長を目指す。	○

目標実現に向けた取組み	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
パワーアップタイムの充実	・四則計算90点以上を9割 ・読み取り問題向上90%以上を8割	・毎日の実施 ・実施内容の年間計画作成 ・5分間の四則計算問題、読み取り問題のポイントの解説 ・実施状況の点検、確認	・パワーアップタイムは、取り組み内容を一部工夫しながら計画通りに取り組んだ。 ・基礎的な計算技能、読み取りのポイントを身につけることができた。	・今後は、より効果的な計画を立てて実践する必要がある。	◎
学力調査による定着度の分析	・通過率 国語 80%以上 算数 90%以上	・学級ごとのSP表作成と全校による分析 ・過去の「学力調査問題」年間3回実施 ・足立スタンダードの定着・活用 ・2月に当該学年の区学力調査を実施し、採点后SP表作成、全校による分析を実施、基礎学力定着を検証	・通過率は国語・算数ともに達成できなかった。 ・区学力総合調査後、1週間以内に自校採点を行い、SP表にまとめる。 ・学力状況調査を自校採点し、その結果をSP表分析する。 ・学力状況調査の次年度は以下の通りである。	・4月の学力調査結果を分析し、正答率が低い問題を中心に取り組み、達成率の低い児童に個別指導をして理解を図ってきた。 ・ポートフォリオを導入して、個人別の課題内容を把握し、個別学習を行い課題の克服を図っていく。	△
個に応じた指導を中心としたハッピータイム	・最終通過率向上100%	・個別指導補習教室の実施 ・3.4年生におけるそだち指導、夏季休業中の学習教室参加 ・長期休業中の10日以上の補習教室実施 ・家庭学習の定着	・週2～3回のハッピータイムや週1～2回の特別勉強を行い、学年目標に達していない児童への個別学習を行った。 ・かけ算九九未定着児取り出し指導実施。 ・毎週月水木曜日の補習教室実施、長期休業中の10日間補習教室を実施。 ・マス黒板や定規を使ったノート指導の徹底や板書計画によるノート指導の徹底を図った。	・習熟度別算数少人数を展開して、個に応じた指導を推進する。 ・考えの筋道を明らかにする授業作り。 ・授業のめあてを明確にした授業の実践を確実に行う。	○

目標実現に向けた取組み	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
読書習慣の確立	・全校で20000冊以上の図書貸し出し	・読み聞かせの実施 ・読書旬間（年2回）の実施期間の充実 ・梅田図書館の出張授業活用 ・各学年に読んでほしい本の選定 ・読書目標の設定による自発的な読書	・貸し出し開始時期の遅れもあり、貸し出し利用者数10074名、貸し出し数8898冊にとどまる。 ・読書の楽しみを知る授業を行った。 ・学校図書館支援員を活用した。	・冊数、ページ数ともに累積できる計画を立てる。 ・読書の楽しみについての研修を行う。	△

## 重点的な取組事項－2 健全な心身づくり

今年度の成果目標	達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
体力の向上	毎日の5分間運動の実施による体力向上	・第1回の体力状況調査結果を受けて、「反復横跳び」に特化し指導した。	・前年度より向上させている。	◎

目標実現に向けた取組み	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
基本的な生活習慣の確立	・早起きの達成率 …90% ・朝ご飯 〃 …97% ・虫歯治癒 …95%	・「おはよう5点」による調査を毎月実施し確立を図る。 ・保護者会等での啓発活動 ・保健授業で歯磨き指導の実施	・早起き …85.7% ・朝ご飯 …97.3% ・虫歯なし+治癒 …96.4%	・朝ご飯はおおむね意識が定着しているが、他は、学年進行と共に下降化傾向がある。	◎
体力向上	・「体力向上調査」結果の向上 個人内上昇95%以上	・体幹を鍛えるためのタオル体操、起立による礼、休み時間の遊びの啓発 ・2回の体力状況調査の実施 ・20分休み時間内の5分間運動	・授業中の姿勢の改善。 ・校庭100周以上、走った児童、全校の37%	・スポーツ推進委員の協力を得て、体力調査の技能と結果を向上させた。	◎
食育の推進	・給食残滓率3%未満を維持。 ・親子料理教室の実施 ・各教科と連携した各学年1回以上の食育授業の実施	・月1回の誕生日給食 ・卒業バイキング給食（年間各1回） ・年3回のラッキーセブン給食の実施 ・親子料理教室（年間2回）	・スクールランチ放送では、給食委員会児童が活躍した。 ・給食残滓率 年間0.82%	・残滓率低減のための取り組みが効果をあげている。 ・ラッキーセブン給食、親子料理教室等を計画的に実施できた。	◎

重点的な取組事項－3

小中連携を通じた授業力向上

今年度の成果目標	達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
六月中・保木間小学校との連携の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>六月中、保木間小学校との連携実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>六月中との連携の研究を通して、指導法の継続を念頭に、9年間の教育を意図した取り組みをする。</li> <li>六月中と年間6回連携した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究授業の指導案の中に板書計画を入れることを指示し、日常の授業で板書が向上した。</li> </ul>	◎

目標実現に向けた取組み	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
学力に関わる交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>校内研究による研究授業6回以上実施</li> <li>六月中、保木間小への研究交流に参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保木間小学校、六月中学校の研究授業を3分科会に分かれて計画実施</li> <li>9年間を見通したカリキュラムの作成</li> <li>全教員1回以上の研究授業実施。教科や領域について個々に設定したテーマに基づき、区小研や都研等の研修を計画</li> <li>授業診断シートをもとにした授業改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小中連携の取組で、小中の教員間の意識の違いや授業の違いを明確にでき、中学校の授業を意識した、小学校の授業の在り方を検討できた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>よりよい小中連携の取組を探っていく。</li> </ul>	◎
児童、生徒に関わる交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>六月中の生徒との交流</li> <li>六月中の生徒会と中島根小児童会との交流</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>六月中運動会の交流リレー6年児童参加</li> <li>中学生ボランティア募集</li> <li>体験授業出前授業、職場体験受け入れ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>六月中学校に集合した他小学校とも交流ができた。</li> <li>夏季、冬期休業中の補習教室にボランティアを依頼し、協力を得た。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校参観を実施できたが、出前授業も計画していく。</li> </ul>	○
その他の交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>3校連携事業「ビューティフルコンサート」への100人以上の参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保木間小、六月中、中島根小による3校連携事業の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>幹事校として計画し、実践した。計画し、実践した。</li> <li>保護者、教職員を含め多くの参加を得た。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後もテーマをもった学習会を計画する。</li> </ul>	◎

重点的な取組事項－4

環境教育の推進

今年度の成果目標	達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
校内の環境を生かした環境教育の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学年20時間程度の実践を計画・実施</li> <li>区の地球温暖化対策事業へ参加。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>5月に環境教育年間計を配布し、周知した。</li> <li>地球温暖化対策事業の「あだち環境カルタ大会」「夏休み子どもエコプロジェクト」「地球にやさしいひとのまちポスターコンクール」に参加した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本校の取り組みを地域の方々に全面的にバックアップしていただいている。</li> <li>環境教育を教育課程の中に組み込んでいくことが定着してきている。</li> <li>「あだち環境カルタⅢ」の読み札コンクールに応募し、2名入賞した。</li> </ul>	◎

目標実現に向けた取組み	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
校庭の芝生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5～11月の期間に「緑をはぐくむ会」を10回実施</li> <li>・参加人数延べ100名以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「緑をはぐくむ会」と連携した校庭の芝生の維持管理。児童、保護者も除草や根切りなどの作業を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「緑を育む会」を年間11回実施し、延べ200名以上の参加があった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土曜授業の日に実施したので参加協力者が増えた。</li> </ul>	◎
グリーンカーテン（壁面緑化）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グリーンカーテンを設置。</li> <li>・キュウリの収穫800本以上</li> <li>・育てたヘチマを乾燥、加工しタワシにして地域の住区センターへ届ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グリーンカーテンの意義について児童、保護者に周知し、節電、環境保全についての啓発活動実施</li> <li>・生活科、理科、総合的な学習の時間等との関連を図り、学習指導に活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・きゅうり約1500本収穫した。</li> <li>・今年は、用務主事との連携でネットの上げ下ろしをした。</li> <li>・土づくり、植え方などについて工夫していく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今までのやり方から、地域の協力のもと学校体制で行っていくための方策を工夫していく必要がある。</li> </ul>	○
ビオトープ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水中や周辺の生物の自然観察を年10時間程度実施</li> <li>・ビオトープに関してホームページ等で広く情報発信する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活科、理科、総合的な学習の時間等で体験的な学習の場として積極的に活用</li> <li>・「緑をはぐくむ会」と連携した維持管理。児童、保護者も作業実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年が、ビオトープ関連の教材を活用して、環境教育を進めてきた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然があふれるビオトープを大切にしながらも外来生物の排除や水量・水質等の管理が欠かせない。</li> </ul>	○
果樹の生成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年の木の生長に関わり、観察等を行い、環境教育に取り入れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活科、理科、総合的な学習の時間等で体験的な学習の場として積極的に活用</li> <li>・収穫の喜びを知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年が、担当の果樹を活用して、環境教育を進めてきた。</li> </ul>		○
水田の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水田を利用し、伝統的な稲の育成を体験する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・代掻き、田植などの作業を5年生を中心に体験する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土に親しみ、いただいた苗を大切に植え、約8Kg収穫した。</li> </ul>		○

### 3. 学校活動全般について

- 44年目、地域・保護者の皆様の力強いご支援のもと本校の伝統を引き継いでいる自覚をもち、教職員一同「チーム中島根」として一丸となって取り組んでいる。児童、保護者、地域の方々も含めた「オール中島根」として本校の教育目標である「すすんで学ぶ子」「仲良く助け合う子」「じょうぶな子」の育成に邁進してきた。今後は、明日が楽しみな学校を目指す。
- 今年度の学力向上の取組では、区学力調査の結果を受け、「学力向上委員会」を機能させ、各学年での取り組み計画を立て、予定通りに行うことができた。3年連続、秋田大仙市への教員派遣を行い、伝達講習を通して校内での共通認識を図っている。全教員が自覚をもって「足立スタンダード」に則った授業、「中島根スタンダード」による学習規律の確立を実践している。
- 幼保小中の連携それぞれの中央に位置する立場から、引継ぎ、積み上げていく計画的な取り組みを計画し、本校で身に付けるべき「知・徳・体」を明らかにし、実践していく。
- 新指導要領移行期間の学習として、新たな内容を意識して取り入れ、円滑な継続を可能にしていく。